



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

セゾン資産形成の 達人ファンド

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第19期（決算日 2025年12月10日）

（作成対象期間 2024年12月11日～2025年12月10日）

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン資産形成の達人ファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第19期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当ファンドは、国内外のそれぞれの地域に強みを持ち、安全性や長期的な収益力を基準に選別投資を行うファンドへ幅広く分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期間も変わらず、この方針に基づき運用を行って参りましたことを併せてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

いそがないで歩こう。



セゾン投信

■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口

〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1

[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

第19期末(2025年12月10日)

基 準 価 額	51,024円
純 資 産 総 額	433,738百万円
第19期	
騰 落 率	14.7%
分 配 金(税 込) 合 計	一円

- ・騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧・ダウンロードいただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「商品ラインアップ」⇒「セゾン資産形成の達人ファンド」⇒「レポート」

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用担当者の紹介

執行役員、マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄 (SESHIMO Tetsuo)

主な役割

投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数

19年

投資に対する考え方

景気や市場動向の予想に頼らず、
一貫した姿勢で投資を行うことが成果につながる



経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社

2007年 セゾン・グローバルバランスファンド、セゾン資産形成の達人ファンド設定時より運用を担当

2011年 ポートフォリオマネージャー 就任(現職)

2014年 運用部長 就任

2021年 マルチマネージャー運用部長 就任(現職)

2024年 執行役員 就任(現職)

セゾン資産形成の達人ファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、厳選したアクティブファンドへの投資を行うことにより、受益者の皆さまの長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

◎受賞実績



「R&Iファンド大賞2025」12年連続 受賞

優秀ファンド賞 部門：投資信託10年 カテゴリー：外国株式コア



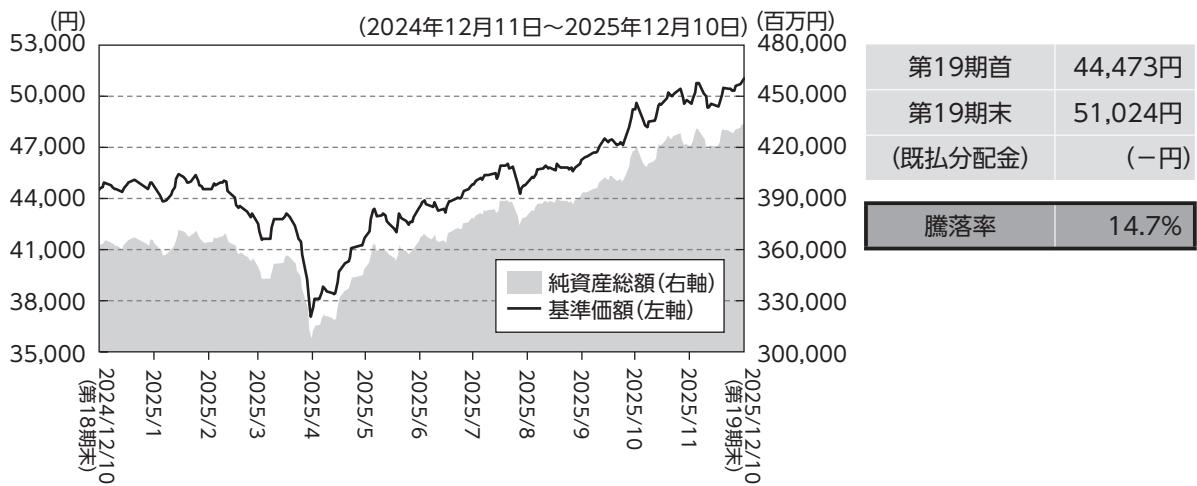
「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2025」11年連続 受賞

最優秀ファンド賞 部門：投資信託部門 評価期間：10年

リッパー分類：ミックスアセット 日本円 フレキシブル型

運用経過の説明

期中の基準価額等の推移



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。



ここをCHECK!

【基準価額の主な変動要因】

当期は、一部を除く株式ファンドの上昇と対ドルでの円安が基準価額の上昇要因となりました。投資先の株式ファンドの中では、米国の株式に投資する「バンガード 米国オポチュニティファンド」が基準価額の上昇に大きく貢献しました。

参考指数やベンチマークとの対比では、「バンガード 米国オポチュニティファンド」、「フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ」が銘柄選択効果により参考指数を上回りましたが、上記以外のファンドは、銘柄選択の影響により参考指数やベンチマークを下回りました。

< 基準価額のプラス要因 >

バンガード 米国オポチュニティファンド (米ドル)
対ドルでの為替レート (円安)
FSSA アジア・パシフィック株式ファンド (米ドル)
フォントベル・ファンド-mtx エマージング・マーケット・リーダーズ (米ドル)
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80 (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド 90 (適格機関投資家限定) (円)
スパークス・集中投資・日本株ファンド S (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定) (円)
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ - BBH・コア・セレクト (米ドル)
スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定) (円)
フォントベル・ファンド-US エクイティクオリティ・グロース (米ドル)
スチュワート・インベスター・グローバル・エマージング・マーケッツ・オールキャップ・ファンド (米ドル)

※1: 2025年12月5日に組み入れ終了

期中騰落率
14.7%

※1

アライアンス・バーンスタン SICAV-コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ (米ドル)

< 基準価額のマイナス要因 >

1万口当たりの費用明細

項目	当 期		項目の概要	
	(2024年12月11日~2025年12月10日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	257円 (141) (100) (16)	0.572% (0.313) (0.223) (0.035)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価	
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	(b) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用	
合 計	257	0.572		

期中の平均基準価額は44,949円です。

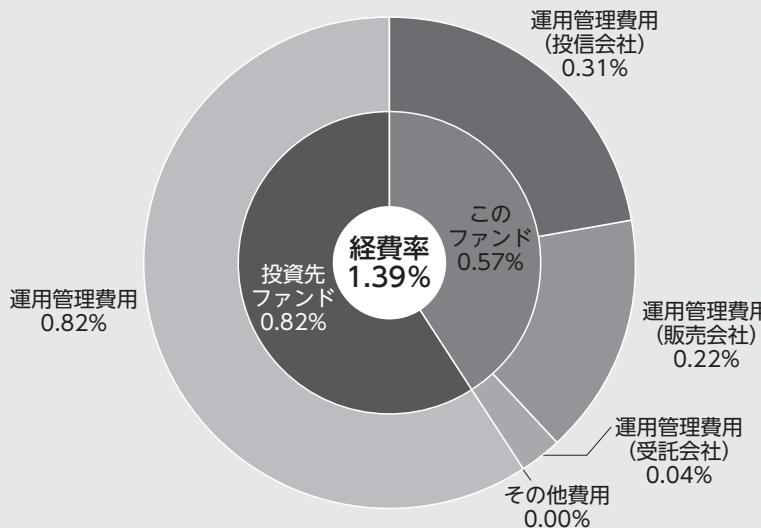
- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

ここをCHECK!

<参考情報>

経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

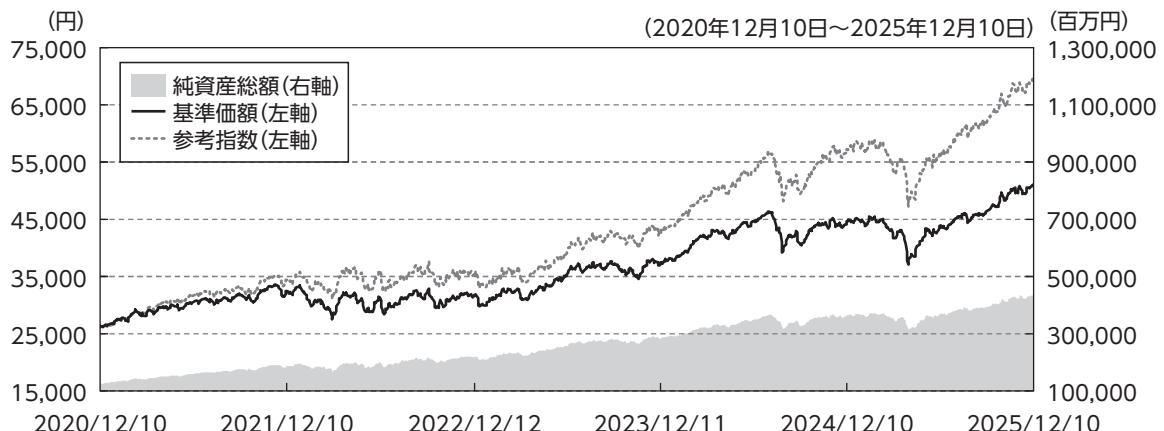
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.39%です。



経費率(①+②)	1.39%
①このファンドの費用の比率	0.57%
②投資先ファンドの経費率	0.82%

- ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理费率を乗じて算出した概算値です。
- 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

最近5年間の基準価額等の推移



	2020年12月10日 決算日	2021年12月10日 決算日	2022年12月12日 決算日	2023年12月11日 決算日	2024年12月10日 決算日	2025年12月10日 決算日
基準価額 (円)	26,279	32,402	31,475	36,838	44,473	51,024
期間分配金合計(税込) (円)	—	—	—	—	—	—
基準価額の騰落率 (%)	—	23.3	△2.9	17.0	20.7	14.7
参考指標の騰落率 (%)	—	30.9	2.2	22.0	33.4	21.7
純資産総額 (百万円)	123,813	185,489	215,903	280,280	362,037	433,738

- 当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指標として記載しております。
- 参考指標は、基準価額の反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- グラフの参考指標は、2020年12月10日の値が基準価額と同一になるように計算しております。
- 上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。
- 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

ここをCHECK!

<参考情報>

当期末(2025年12月10日)と5年前(2020年12月10日)の比較は以下のとおりです。

基準価額の騰落率(5年)	94.2%
参考指標の騰落率(5年)	165.1%
純資産額の増加額(5年)	309,924百万円

・騰落率は年率換算しておりません。

投資環境

【株式市場の概況】

株式市場は上昇しました。

景気の先行きに対する楽観的な見方が維持されるなかで全般的に上昇し、なかでも人工知能(AI)関連投資の拡大やAIの普及に伴う生産性の向上や収益拡大への期待が高まったことを受けて、情報技術セクターやコミュニケーションセクターが大きく上昇したほか、金融セクターも大きく上昇しました。

地域別では、米国でAIに対する期待が高まったことを背景に情報技術セクターやコミュニケーションセクターが上昇し、欧州では景気の先行きに対する悲観的な見方が後退したことや、防衛費の拡大観測が高まったことを背景に金融セクターや資本財・サービスセクターが上昇しました。日本ではAI関連投資の拡大期待が高まったことや、防衛費の拡大観測が高まったことを背景に情報技術セクターや資本財・サービスセクターが上昇し、新興国は、AI関連投資の拡大期待が高まったことを受けて、情報技術セクターが上昇しました。

期の初めから3月頃までは、トランプ米大統領による関税などの経済対策を巡る懸念を背景に、軟調な展開となりました。4月はトランプ米大統領が相互関税と呼ぶ、大規模な関税措置を発表したことを見て、景気減速や長期的な経済成長率の低下への不安が広がって下落しました。その後は、トランプ米大統領が関税措置の全面的な実施を先送りし、他国・地域との交渉を行う方針を示したことを見て反発し、5月は米国と中国が関税率の引き下げで合意したことを見て、安心感が広がって上昇しました。6月はイランとイスラエルの軍事衝突が発生し、中東情勢が緊迫化して下落する局面はあったものの、7月は日本や欧州連合(EU)が米国と関税措置を巡る交渉で合意したことを見て、先行きへの不透明感が和らいで上昇しました。8月は米国で労働市場の弱さが確認されて、景気の先行きに対する懸念が高まったものの、同時に政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。9月はAI関連投資の拡大期待が高まったことを受けて上昇しました。10月は米国で一部の政府機関が閉鎖され、不透明感が高まったものの、米国と中国の貿易摩擦の激化懸念が後退したことを見て上昇しました。11月はハイテク関連株式の過熱への警戒が高まるなかで、AI関連投資の収益化に対する懐疑的な見方が広がって下落する局面があったものの、その後は米国で政策金利の引き下げ観測が高まったことを受けて上昇しました。

【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が後退して、政策金利の引き下げ観測が高まったことや政治的な混乱への警戒が高まったことを受けてドルが下落し、景気の先行きに対する悲観的な見方が後退し、政策金利の引き下げ観測が後退したユーロが上昇しました。円は、1月に政策金利が引き上げられたものの、引き続き金利の高い通貨を選好する動きが続くななく、日本銀行が慎重に政策金利の引き上げを行うとの見方が強まることや、政府支出の拡大による財政赤字の拡大観測が高まったことを受けて、ドルに対しても下落しました。

期の初めは、米国やユーロ圏で政策金利が引き下げられたものの、今後の政策金利の引き下げペースが緩やかになるとの見方が広がってドルとユーロが上昇し、日本銀行が政策金利の引き上げを慎重に行うとの見方が強まつて円が下落して、対ドル対ユーロで円安となりました。1月から2月は日本で政策金利の引き上げ観測が高まるなかで、米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が後退したことを見て円が上昇して、対ドル対ユーロで円高となりました。3月は欧州で景気の先行きに対する悲観的な見方が後退してユーロが上昇し、対ユーロで円安となりました。4月はトランプ米大統領が相互関税と呼ぶ、大規模な関税措置を打ち出したことを受けて、米国景気の先行きに対する楽観的な見方が後退してドルが下落し、対ドルで円高となりました。6月はユーロ圏で政策金利の引き下げ観測が後退したことを見てユーロが上昇し、対ユーロで円安となりました。7月は米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がったことを受けてドルが上昇して円が下落し、対ドルで円安となりました。8月は米国で政策金利の引き下げ観測が高まってドルが下落し、対ドルで円高となりました。10月は日本で政策金利の引き上げ観測が後退したことを見て円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。11月は、日本で財政赤字の拡大観測が高まって円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。12月は、日本で政策金利の引き上げ観測が高まったものの、ドルやユーロとの金利差が大きな状況が続くとの見方を背景に円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、長期の成果だけに焦点をあて、投資先ファンドを通じて個別銘柄の価値を見極めながら、株式への投資比率を高位に保ち、幅広く国際分散投資を行いました。

当期は、12月と3月に新興国・太平洋地域へ投資するファンドの目標投資比率を変更し、2024年11月にリードポートフォリオマネージャーが交代した「FSSAアジア・パシフィック株式ファンド」の目標投資比率を徐々に引き下げ、前期に組み入れを開始した「スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」、追加調査により信頼度が高まった「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90」、「フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ」の目標投資比率を引き上げました。5月には、前期に組み入れを開始した「フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース」への目標投資比率を引き上げ、ごく一部ではあるものの短期的なパフォーマンスを意識する動きが見られた「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」への目標投資比率を引き下げました。11月には追加調査により信頼度が高まった「フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース」の目標投資比率を引き上げ、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」の目標投資比率を引き下げるとともに、一部入れ替えを行いました。また、11月14日に「スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」の運用責任がスチュワート・インベスターーズから、同じファースト・センティア・グループ傘下のFSSAインベストマネージャーズへ移管されたことを受けて、同ファンドを全額売却することとし、運用体制の強化により信頼度が高まった「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90」の投資比率を引き上げて、入れ替えを行いました。なお、11月のファンドの入れ替えの際の売却代金の一部を目標投資比率との乖離が大きくなっていた「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80」の購入代金に充当しました。

上記以外では、投資比率が目標投資比率を上回っていたファンドを一部売却したほかは、積立などでのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、目標投資比率を引き上げたファンド、相対的に値動きが振るわなかつことにより投資比率が目標投資比率を下回ったファンドを中心に購入を行いました。

2024年3月に組み入れを開始した「スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」は、当ファンドの投資対象ファンドのなかでも投資の時間軸が相対的に長いファンドで、直近のパフォーマンスは振るわないものの、長期的には良好なパフォーマンスを得ることができると判断して、徐々に投資比率を引き上げていましたが、ファースト・センティア・グループのビジネス上の判断により、投資を継続できなくなつたことに失望しています。しかし、売却代金の一部を、直近のパフォーマンスが振るわなかつた信頼度の高いファンドへの投資に振り替えたため、全体への影響は限定的だと認識しています。

今期は、5月の途中までは参考指数よりも堅調に推移する局面がありましたが、その後の上昇局面では参考指数の上昇率を下回り、5期連続で参考指数の騰落率を下回る結果となりました。

 **ここをCHECK!**

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2024年12月11日から2025年12月10日)

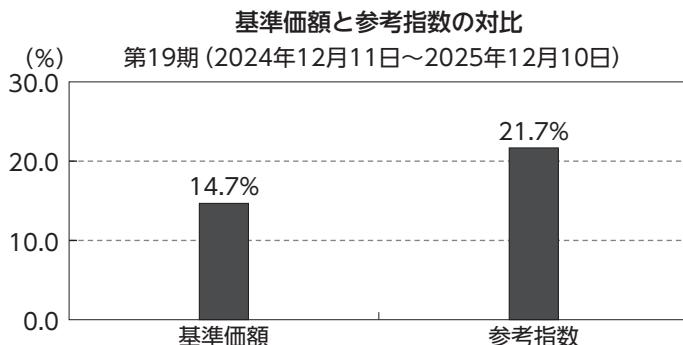
投資信託受益証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	千口 7,076,920	千円 16,730,000	千口 -	千円 -
	コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	4,873,722	7,265,000	19,928	25,000
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	73,616	575,000	-	-
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)	-	-	74,225	710,000
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)	56,217	120,000	34,267	90,000
投資証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国外	アイルランド バンガード 米国オポチュニティファンド FSSAアジア・パシフィック株式ファンド スチュワート・インベスターーズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド	千口 3	千米ドル 5,000	千口 6	千米ドル 12,400
		-	15	284	8,550
		2,800	27,250	8,312	84,804
	ルクセンブルク アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイティッドUSエクイティ・ポートフォリオ BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ フォントベル・ファンド-USエクイティ-クオリティ・グロース	千口 76	千米ドル 3,700	千口 2,707	千米ドル 140,350
		49	2,883	11	650
		32	3,250	6	700
		416	131,050	-	-

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指標として記載しております。
- ・参考指標は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第19期
	2024年12月11日～2025年12月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	41,023

- ・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

今後の運用方針

引き続き、長期的な資産の成長だけに焦点をあて、一貫した姿勢で株式への投資比率を高位に保ってまいります。長期的には株価は価値を反映していくとの認識のもと、株式市場で価値が過小評価されていると考えられる企業に投資することで、リスクを抑えながら長期的に市場平均を上回るリターンを獲得することを目指す方針は変わりません。

具体的には、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを利用して、それぞれの地域で強みを持つ投資先ファンドが、長期的な視点で個別銘柄の調査を行うことにより価値を見極めて、価値が株価に正しく反映されていないと考えられる場合にのみ投資を行っています。価値と価格の差が長期的な成果の源泉となると強く認識していることから、引き続き長期的な視点で価値を見極める能力と、高すぎる価格を支払わない一貫した姿勢を重視して、投資先ファンドの評価を行っていきます。

そのうえで、地域ごとの投資比率を、市場全体に対する平均的な評価を反映する時価総額ではなく、投資対象となる企業の数と規模で表される投資機会の大きさを勘案して決定し、注目を集めている市場に過剰に投資することを避け、見過ごされている市場の魅力的な投資機会を活用することを目指しています。

当ファンドの上昇率は参考指標を下回る状況が続いているが、資産を長期的に成長させるためには、価値と価格の関係に焦点をあてて投資を行うことが最も重要との認識に変わりはありません。また、分散投資の長期的な成果は市場の関心から外れている地域や分野へも継続して投資することにより得ることができると認識しており、市場の予測などに基づく投資比率の調整は行わず、信頼度が高いファンドのパフォーマンスが相対的に劣後して比率が低下した場合には、積極的に追加投資を行います。

市場はある程度は合理的な一方で、時には大きく間違うことがあると認識しており、市場の動きを追いかげずに、価値があるものに高すぎない価格で投資する一貫した姿勢を維持することが、投資を継続していただいている皆さまの資産の長期的な成長に資するとの認識に変わりはなく、引き続き同じ方針で運用してまいります。

ポートフォリオマネージャー 濑下 哲雄

お知らせ

当期中の約款変更について

2024年12月11日から2025年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下のとおりです。

●2025年3月11日付

投資対象ファンド名称の変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

●2025年4月1日付

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

●2025年9月11日付

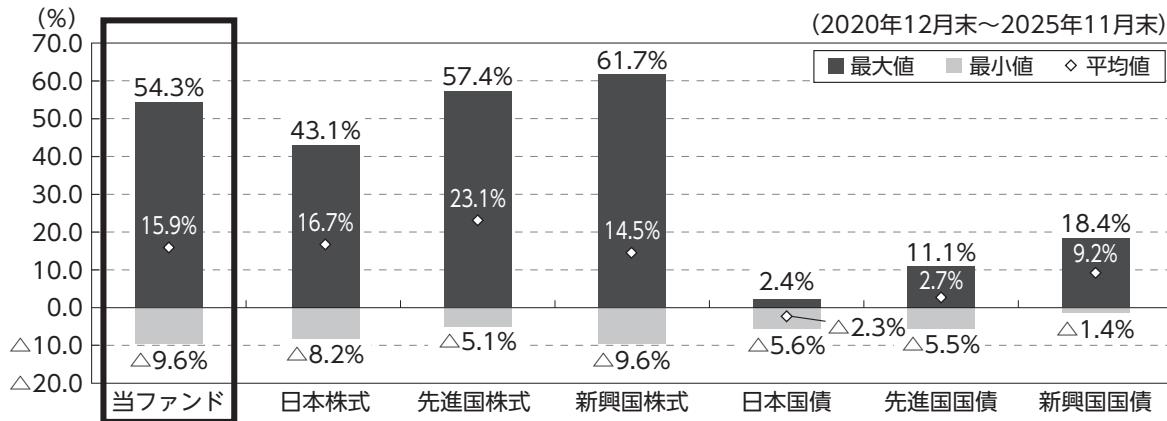
投資対象ファンド名称の変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

※2026年3月11日付で、信託財産留保額を廃止することに伴い、投資信託約款に所要の変更を行う予定です。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されているファンドへの投資を通じて、長期的な資産の成長を図ります。 原則として、為替ヘッジは行いません。
主 要 投 資 対 象	有価証券に投資する国内外の投資信託証券を投資対象とします。
運 用 方 法	当ファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式とし、国内外の投資信託証券の中から、資産規模、運用実績、コストなどの面ならびにファンドの運用方針、投資態度をリサーチの上、投資を行います。 投資信託証券については、運用実績等を総合的に勘案して、投資の対象から入れ替えや除外を行うことがあります。また、投資基準に基づいて投資対象の候補とするファンドは随時追加や除外を行います。
分 配 方 針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。 当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 2020年12月から2025年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- 上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株式：MSCI ジャパン・インデックス(配当込)

先進国株式：MSCI ワールド・インデックス(配当込)

新興国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス

先進国国債：ブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックス

新興国国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックス

- 全ての指数は米ドル建てのものをわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

- MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指數の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 - MSCIワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指數の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 - MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指數の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 - MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国と新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指數の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 - ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックスは、日本国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
 - ブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスは、米国、カナダ、日本、イギリス、ドイツ、フランス、イタリアの国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
 - ブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックスは、中国、韓国、インドネシア、マレーシアなど新興国の自国通貨建て国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
 - [Bloomberg®]は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークです。
- ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関するいかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

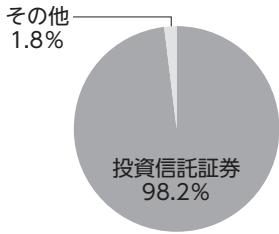
(2025年12月10日現在)

■組入ファンド

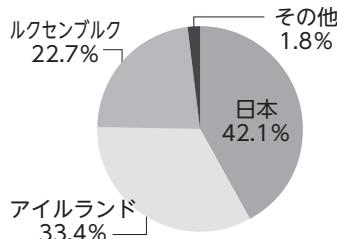
	第19期末(2025年12月10日) 組入比率
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)	24.2%
バンガード 米国オポチュニティファンド	23.0%
FSSAアジア・パシフィック株式ファンド	10.3%
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	8.7%
フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース	7.0%
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)	5.4%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉	4.4%
フォントベル・ファンド mtxエマージング・マーケット・リーダーズ	4.1%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	4.1%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	4.0%
アライアンス・バーンスタイル SICAV-コンセントレイティッドUSエクイティ・ポートフォリオ	2.9%
その他(短期金融資産等)	1.8%
組入ファンド数	11銘柄

- ・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・詳細は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

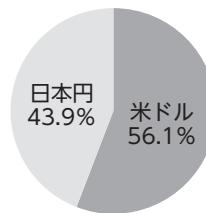
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・国・地域別配分は、投資しているファンドの発行国を表示しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。



ここをCHECK!

投資対象別に分類した組入資産の状況

■資産別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
株式を中心に投資するファンド	98.2%	11銘柄
その他(短期金融資産等)	1.8%	—
合 計	100.0%	11銘柄

- ・詳細は、「組入ファンドの概要」をご参照ください。

- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

■地域別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
米国を中心に投資するファンド	41.6%	4銘柄
欧州を中心に投資するファンド	24.2%	1銘柄
日本を中心に投資するファンド	12.5%	3銘柄
太平洋(日本を除く)を中心に投資するファンド	10.4%	1銘柄
新興国を中心に投資するファンド	9.5%	2銘柄
その他(短期金融資産等)	1.8%	—
合 計	100.0%	11銘柄

純資産等

項 目	第19期末
	2025年12月10日
純 資 産 総 額	433,738,531,705円
受 益 権 総 口 数	85,006,852,809口
1万口当たり基準価額	51,024円

・期中における追加設定元本額は13,301,674,410円、同解約元本額は9,700,970,997円です。



ここをCHECK!

- ・第19期における金額ベースの追加設定額は59,442,220,166円、同一部解約額は43,845,348,926円です。
結果、第19期は差し引き15,596,871,240円の資金流入となりました。

- ・純資産等の前期末の状況は以下のとおりです。

項 目	第18期末
	2024年12月10日
純 資 産 総 額	362,037,398,081円
受 益 権 総 口 数	81,406,149,396口
1万口当たり基準価額	44,473円

組入ファンドの概要

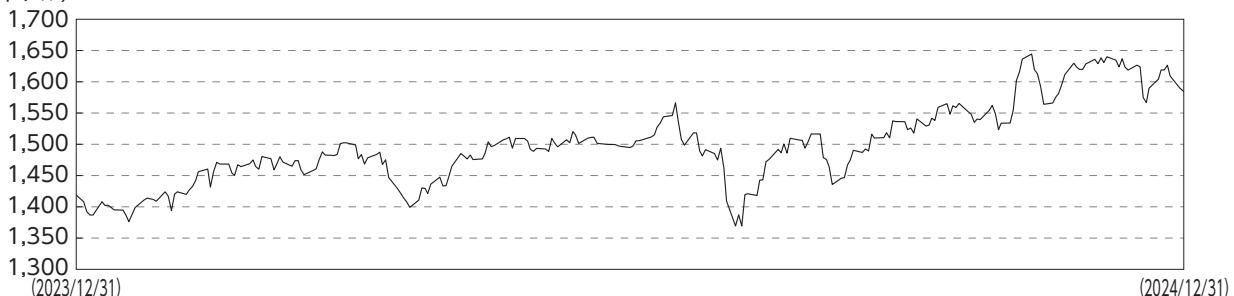
以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。詳細な内容につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

なお、以下の各項目の注記につきましては、31頁をご参照下さい。

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



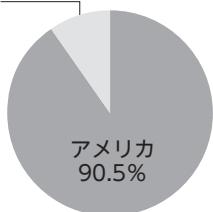
■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Eli Lilly & Co.	5.7
2	Alphabet Inc.	3.1
3	Flex Ltd.	2.9
4	Xometry Inc.	2.5
5	Raymond James Financial Inc.	2.3
6	Visa Inc.	1.8
7	Micron Technology Inc.	1.8
8	Tradeweb Markets Inc.	1.7
9	Tesla Inc.	1.7
10	NEXTracker Inc.	1.5
組入銘柄数		233銘柄

■国・地域別配分

その他
9.5%



・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

・資産別配分、通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2024年12月31日現在)

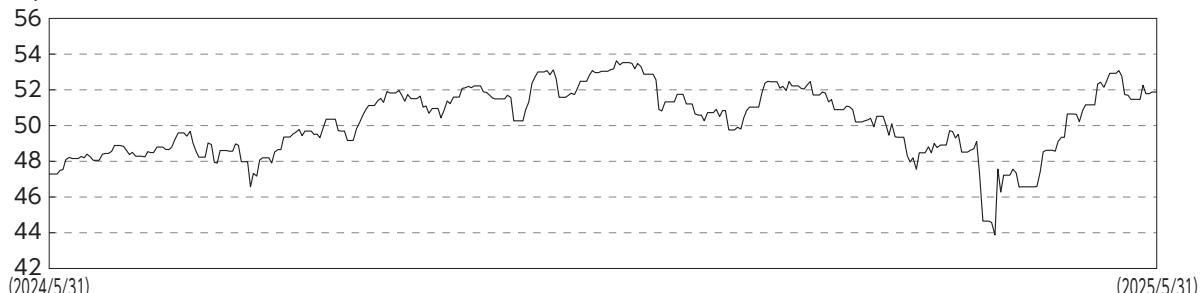
ファンド財産	購入時	なし
維持手数料率	解約時	なし
運用管理費率(年率) (%)		0.85

・運用管理費率は、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。

2. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2025年5月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Microsoft Corp.	9.6
2	Mastercard, Inc. - Class A	9.4
3	Amazon.com, Inc.	9.2
4	Amphenol Corp. - Class A	6.9
5	Eaton Corp. PLC	5.5
6	Charles Schwab Corp. (The)	5.0
7	Automatic Data Processing, Inc.	4.9
8	Arthur J Gallagher & Co.	4.8
9	Zoetis, Inc.	4.8
10	Ecolab, Inc.	4.7
組入銘柄数		19銘柄

■1万口当たりの費用明細

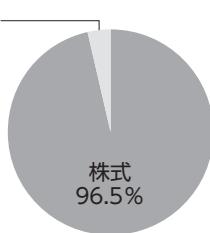
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

(2025年5月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

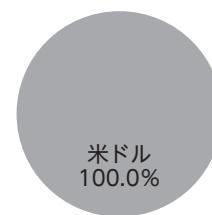
■資産別配分

現金等
3.6%

■国・地域別配分

アメリカ
100.0%

■通貨別配分

米ドル
100.0%

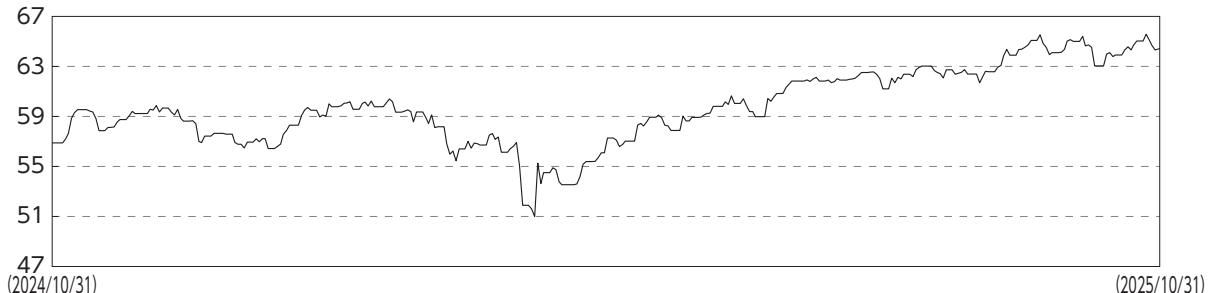
・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2025年10月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Alphabet Inc	7.7
2	Microsoft Corp	7.6
3	KLA Corp	6.2
4	Oracle Corp	5.5
5	Amazon.com Inc	5.3
6	Mastercard Inc	3.9
7	Apple Inc	3.7
8	Booking Holdings Inc	3.5
9	Thermo Fisher Scientific Inc	3.2
10	Linde PLC	3.0
組入銘柄数		34銘柄

■1万口当たりの費用明細

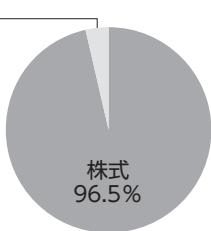
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

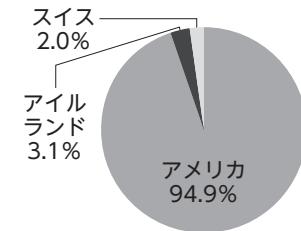
■費用明細 (2025年10月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	1.00

■資産別配分

現金等
3.5%

■国・地域別配分

スイス
2.0%
アイル
ランド
3.1%

■通貨別配分

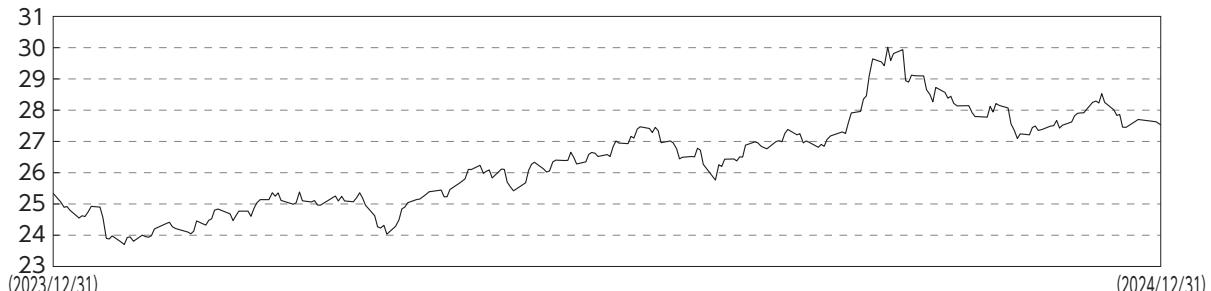
米ドル
100.0%

- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

4. FSSAアジア・パシフィック株式ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	HDFC Bank	8.9
2	Tencent Holdings Ltd.	8.4
3	China Mengniu Dairy Co., Ltd.	5.5
4	ICICI Bank Limited	5.0
5	Sony Group Corporation	4.8
6	Oversea-Chinese Banking Corporation	4.1
7	Taiwan Semiconductor (TSMC)	3.9
8	Kasikornbank Public Co. Ltd.	3.6
9	China Resources Beer (Holdings) Co. Ltd.	3.1
10	Infosys	3.0
組入銘柄数		42銘柄

■1万口当たりの費用明細

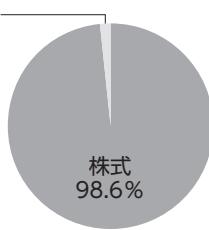
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

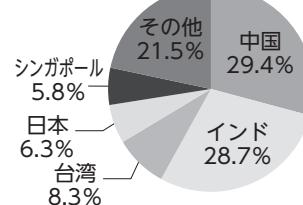
■費用明細 (2024年12月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

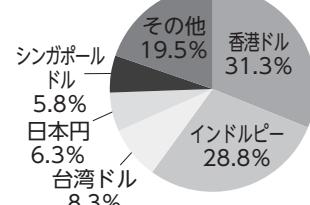
■資産別配分

現金等
1.4%

■国・地域別配分



■通貨別配分

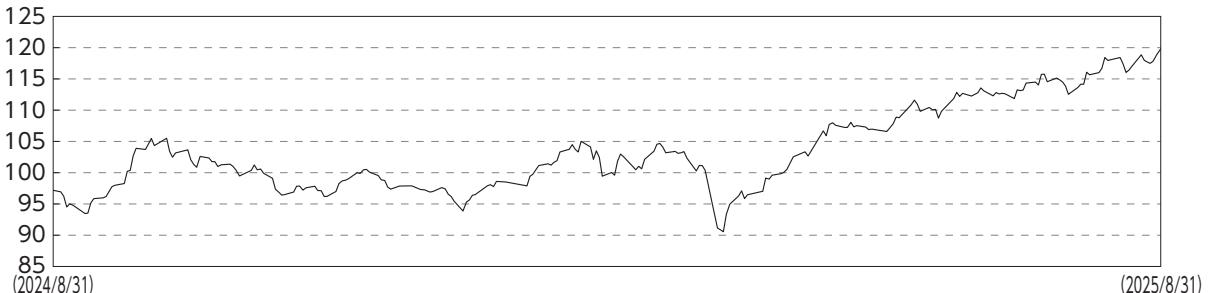


・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

5. フォントベル・ファンド-mtxエマージング・マーケット・リーダーズ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2025年8月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufac	9.4
2	Tencent Holdings Ltd	6.3
3	Samsung Electronics Co Ltd	4.5
4	Alibaba Group Holding Ltd	3.4
5	Hdfc Bank Limited	2.7
6	Bajaj Finance Ltd	2.6
7	Aia Group Ltd	2.6
8	Aldar Properties Pjsc	2.6
9	Cia Saneamento Basico De Sp	2.5
10	Itau Unibanco Holding S-Pref	2.5
組入銘柄数		53銘柄

■1万口当たりの費用明細

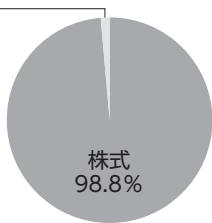
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

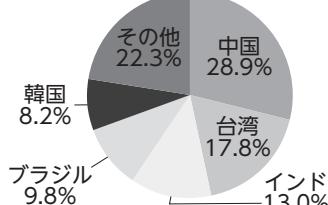
(2025年8月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.65

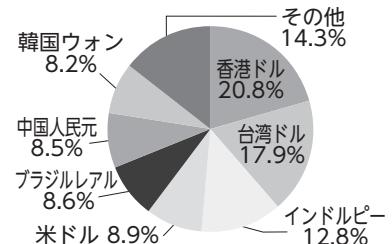
■資産別配分

現金等
1.2%

■国・地域別配分



■通貨別配分

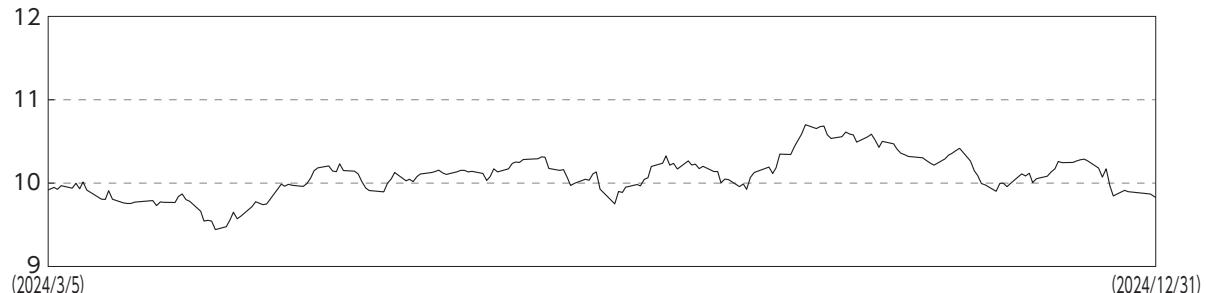


・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

6. スチュワート・インベスタートス・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



・当ファンドの投資シェアクラスは、2024年3月4日に設定されたため、2024年3月5日～2024年12月31日までのデータとなります。

■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Mahindra & Mahindra	7.9
2	Taiwan Semiconductor (TSMC)	7.0
3	HDFC Bank	5.5
4	Tata Consultancy Serv. Ltd	4.6
5	Tube Investments of India Limited	4.6
6	Weg S.A.	3.1
7	Globant SA	3.1
8	Voltronic Power Technology Corp.	2.9
9	EPAM Systems, Inc.	2.9
10	Jeronimo Martins, SGPS S.A.	2.8
組入銘柄数		47銘柄

■1万口当たりの費用明細

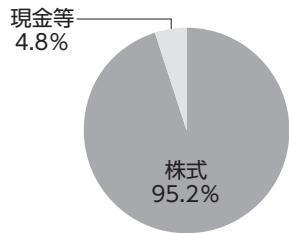
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

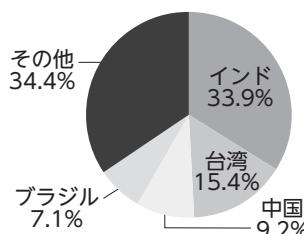
■費用明細 (2024年12月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

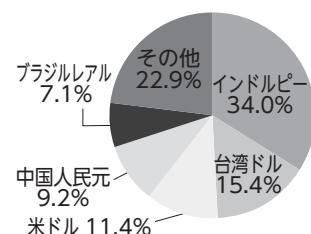
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分

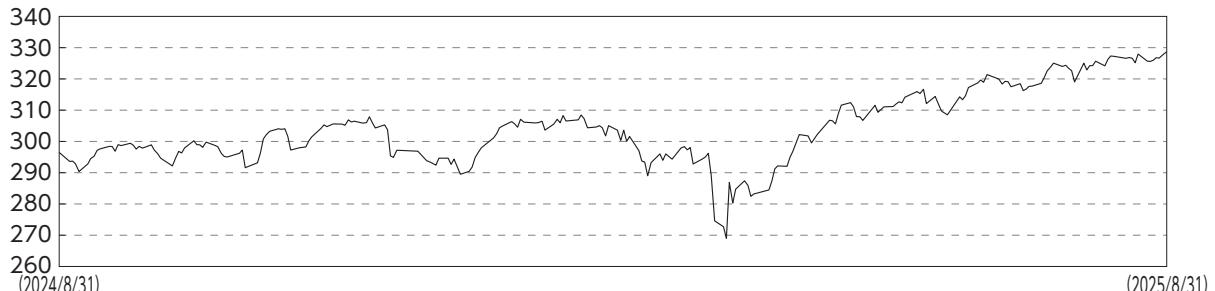


・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

7. フォントベル・ファンド-USエクイティーオリティ・グロース

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2025年8月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Microsoft Corp	6.5
2	Amazon Com Inc	5.9
3	Meta Platforms Inc Cl A	4.6
4	Intercontinental Exchange Inc Com	4.5
5	Coca Cola Co	4.2
6	Mastercard Incorporated Cl A	4.0
7	Rb Global Inc Com Npv	4.0
8	Alphabet Inc Cap Stk Cl A	3.6
9	Abbott Labs	3.5
10	Cme Group Inc	3.2
組入銘柄数		42銘柄

■1万口当たりの費用明細

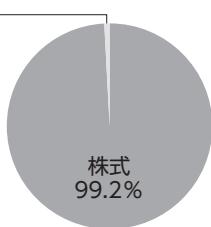
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

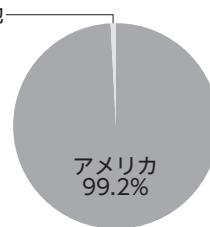
(2025年8月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.55

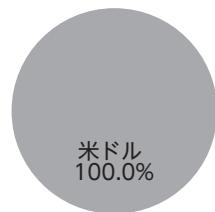
■資産別配分

現金等
0.8%

■国・地域別配分

その他
0.8%

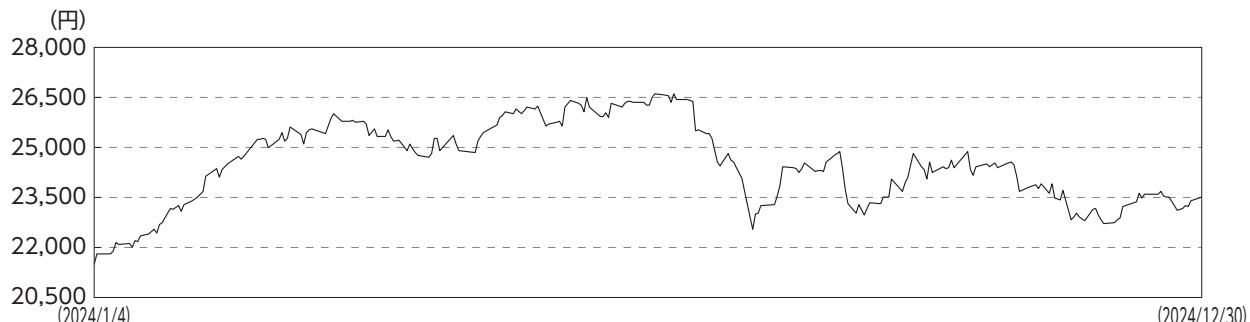
■通貨別配分

米ドル
100.0%

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

8. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2024年1月5日～2024年12月30日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	215円 (134) (67) (13)	0.87% (0.54) (0.27) (0.05)
(b) 売買委託手数料 (株式)	4 (4)	0.01 (0.01)
(c) 有価証券取引税 (株式)	13 (13)	0.05 (0.05)
(d) その他の費用 (保管費用) (監査費用) (その他1)	9 (9) (0) (0)	0.04 (0.04) (0.00) (0.00)
合計	241	0.97
期中の平均基準価額は24,724円です。		

- 各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- その他1は、外国株式に関する各種手数料等です。
- 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年12月30日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

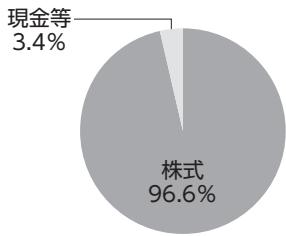
<ご参考> ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

■組入上位10銘柄

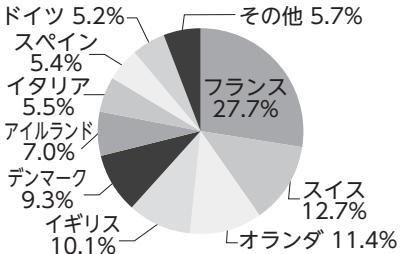
(2024年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	ASML HOLDING NV	7.1
2	NOVO NORDISK A/S-B	5.9
3	ESSILORLUXOTTICA	5.2
4	SCHNEIDER ELECTRIC SE	4.9
5	ALCON INC	4.1
6	AIR LIQUIDE	4.0
7	RELX PLC	3.6
8	DASSAULT SYSTEMES SE	3.3
9	EXPERIAN PLC	3.2
10	STRAUMANN HOLDING AG-REG	2.9
組入銘柄数		40銘柄

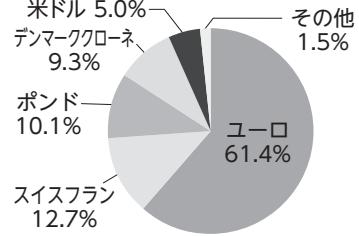
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



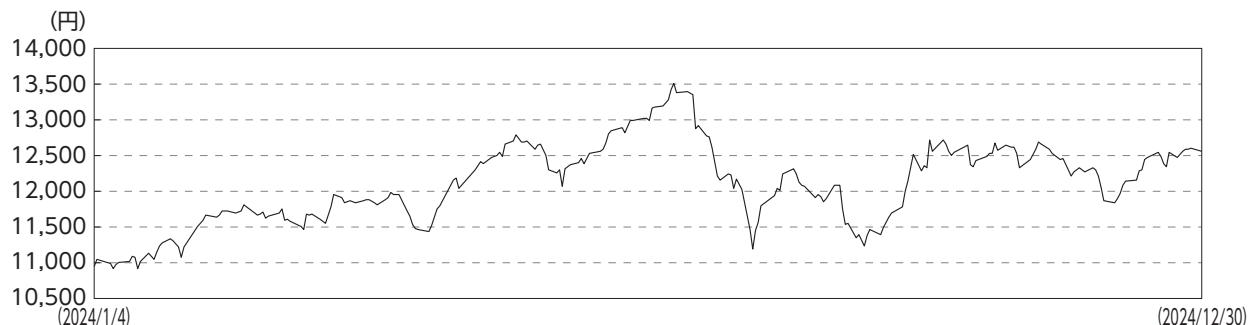
・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

9. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2024年1月5日～2024年12月30日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社)	118円 (75)	0.98% (0.62)
(販売会社)	(37)	(0.30)
(受託会社)	(7)	(0.05)
(b) 売買委託手数料 (株式)	6 (6)	0.05 (0.05)
(c) 有価証券取引税 (株式)	5 (5)	0.04 (0.04)
(d) その他の費用 (保管費用) (監査費用) (その他1)	50 (19) (1) (30)	0.41 (0.16) (0.00) (0.25)
合計	179	1.48
期中の平均基準価額は12,067円です。		

- 各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

- 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

- その他1は、外国株式に関する各種手数料等、インド株式におけるキャピタルゲイン課税等です。

- 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

- 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年12月30日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.4%
組入銘柄数	1銘柄

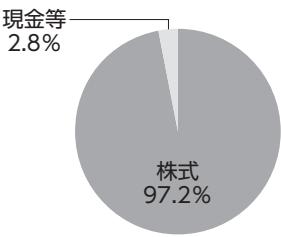
<ご参考> ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド

■組入上位10銘柄

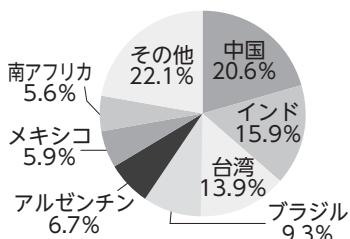
(2024年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	9.9
2	TENCENT HOLDINGS LTD	6.9
3	MERCADOLIBRE INC	4.1
4	DELTA ELECTRONICS INC	4.0
5	ASML HOLDING NV	3.6
6	DISCOVERY LTD	3.5
7	WEG SA	3.4
8	MIDEA GROUP CO LTD-A	3.3
9	SAMSUNG ELECTRONICS CO.,LTD.	3.2
10	Wal Mart de Mexico SAB de CV	3.2
組入銘柄数		40銘柄

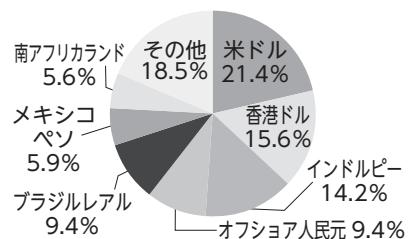
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



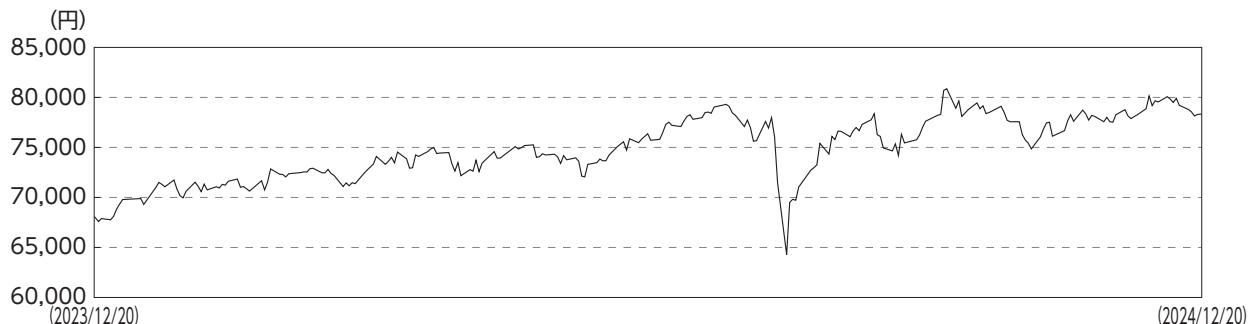
・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

10. スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2023年12月21日～2024年12月20日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	621円 (551) (41) (29)	0.83% (0.73) (0.05) (0.04)
(b) 売買委託手数料	31	0.04
(c) その他費用	3	0.00
合計	655	0.87
期中の平均基準価額は75,303円です。		

- 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- その他費用は、監査費用です。
- 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年12月20日現在)

	当期末
スパークス集中投資戦略マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

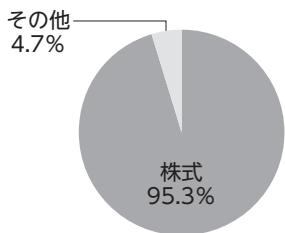
<ご参考> スパークス集中投資戦略マザーファンド

■組入上位10銘柄

(2024年12月20日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	ライフドリンク カンパニー	8.5
2	MARUWA	8.2
3	トーセイ	5.5
4	マックス	5.2
5	メック	4.0
6	SBIホールディングス	3.6
7	山洋電気	3.6
8	共立メンテナンス	3.2
9	上村工業	3.2
10	イー・ギャランティ	3.1
組入銘柄数		33銘柄

■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分

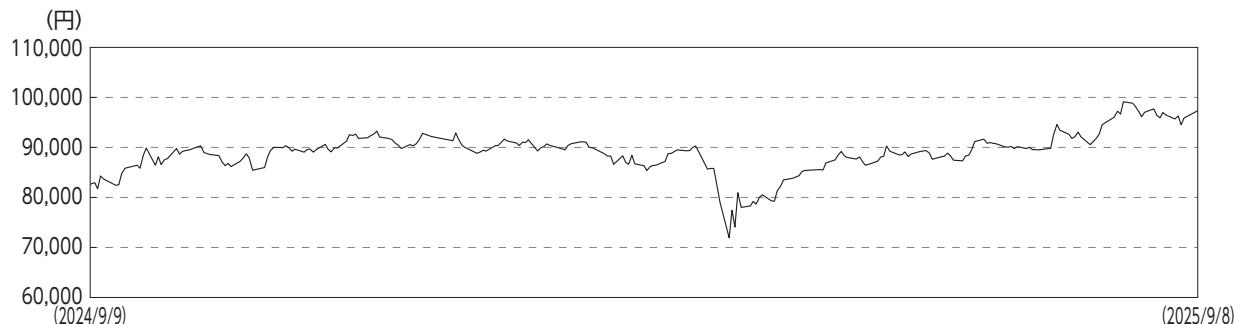


・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

11. スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉

■基準価額の推移



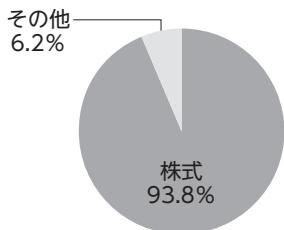
■1万口当たりの費用明細

(2024年9月10日～2025年9月8日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	786円 (758) (-) (28)	0.88% (0.85) (-) (0.03)
(b) 売買委託手数料	22	0.03
(c) その他費用	3	0.00
合計	811	0.91
期中の平均基準価額は89,562円です。		

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・その他費用は、監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

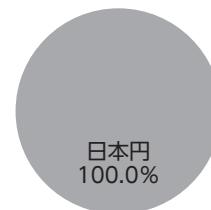
■資産別配分



■国・地域別配分



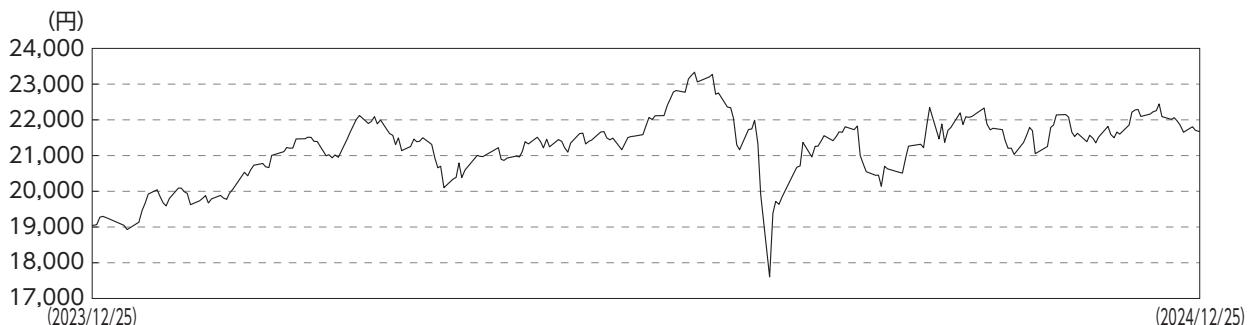
■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

12. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2023年12月26日～2024年12月25日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社)	182円 (117)	0.86% (0.55)
(販売会社)	(59)	(0.28)
(受託会社)	(7)	(0.03)
(b) 売買委託手数料 (株式)	8 (8)	0.04 (0.04)
(c) その他の費用 (監査費用) (その他の)	1 (1) (0)	0.00 (0.00) (0.00)
合計	191	0.90
期中の平均基準価額は21,281円です。		

- 各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

- 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

- 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年12月25日現在)

	当期末
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

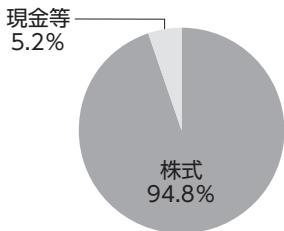
<ご参考> コムジェスト日本株式マザーファンド

■組入上位10銘柄

(2024年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	ファーストリテイリング	4.1
2	三菱重工業	3.9
3	ソニーグループ	3.9
4	日立製作所	3.7
5	デクセリアルズ	3.7
6	ダイワク	3.6
7	第一生命ホールディングス	3.4
8	HOYA	3.4
9	アシックス	3.3
10	オービック	3.3
組入銘柄数		37銘柄

■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。

・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・特に指定がない場合、投資比率はファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating(リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタンント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタンント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。